

## 梅光学院大学附属図書館所蔵和漢古書目録稿(上)

久保田 啓一  
松浦 恵子  
蔵本 朋依

### 凡例

一、本稿は、梅光学院大学附属図書館に所蔵される和漢古書の日録である。ただし、複製本の類は収録していない。

- 一、分類・配列は内閣文庫の国書・漢籍目録に原則として従った。
- 一、表記は、常用漢字・人名漢字を使用し、他は正字体とした。
- 一、書名は原則として外題に拠った。外題が不完全だったり不備だったりする場合は、内題・目録題・柱題などに拠り、それぞれ(内)・(目)・(柱)などと書名の下に注記した。また、書名が不明で、内容から判断して仮題をつける場合は、「」で括った。
- 一、書型を極大・大・半・中・小・横で示した。唐本の場合もこれに準じた。

一、卷冊を「○卷○冊」の形で示した。ただし明確には巻が立てられていない場合は冊数のみとした。また零本の場合は「○卷○冊存」と現状の卷冊の下に「存」を記し、備考欄に現存する巻を記した。

- 一、刊写の別を「刊」「写」で表わした。なお、明治以降の活字本の場合は「活」とした。木活字本は「刊」に含め、備考欄に木活字本である旨を明記した。
- 一、刊行書写年代を「宝暦9」などと示した。また、刊記・奥書がなく、序・跋等がある場合は、その撰文年代を採って、「明和2序」のごとく示した。なお、正確な年代が不明のもので、ある程度の推測が可能な場合は、「近世前期」「近世中期」「近世後期」と記したものもある。
- 一、見出しの最下段に編著者・校訂者・画者名等を摘記した。

一、四字下げの備考欄には、零本の現存巻、掲出の題以外の題、刊記・奥書の内容を摘記した。原本通りの引用は「」で括った。刊記・奥付の場合、原則として末尾の書肆一軒を掲げ、「他三肆」のように表わした。また、必要に応じて序跋の撰文年代・撰文者名を示した。

一、末尾に請求番号を記した。ただし、冊数に応じた枝番号は省略した。

一、作業の分担は次の通りである。

目録カード作成

久保田・松浦

分類・原稿作成

松浦・蔵本

最終点検

久保田

一、紙幅の都合で、今回は和書「一〇 経済」の項までを掲載した。

図書館長増子と男教授および梅光学院大学日本文学会の御高配を忝くした。心より御礼申し上げる次第である。

### 和書

#### 一 総記

1 増補 頭書 訓蒙図彙大成 半 21巻10冊 刊 寛政元

中村惕齋  
下河辺拾水子

京九臯堂刊。刊記につづいて「訓蒙図彙」以下六点の広告あり。 ○九二―一三六

2 唐土訓蒙図彙(内) 半 1巻1冊存 刊

卷二存。

○九二―一三二

3 中華事始(内) 半 2巻1冊存 刊

貝原好古

卷五、六存。元禄十年刊本の後印本。刊記「元禄十年夏五月／平安城書林(以下削除)」。刊記につづいて京柳枝軒の蔵書目録あり。 ○九二―一一三

4 駿台雑話

大 5巻5冊 刊 寛延3序 室鳩巢

### 〔付記〕

本稿のもととなった目録カードは、久保田が梅光女学院大学在勤中に作成していたが、転出等もあって整理が遅延していた。このたびようやく統一を図って成稿化した。この間、梅光女学院大学(現 梅光学院大学)当局及び同附属図書館に御迷惑をおかけしたことをおわび申し上げる。なお、本目録稿が「日本文学研究」誌上に掲載されるについては、附属

見返しに「東都 崇文堂梓」とあり。裏見返しに大阪河内屋卯助他十二肆の名あり。  
○九二一八五

三 仏教

5 燕石雜誌

大 4巻4冊存 刊 文化7序 曲亭馬琴  
卷一、二、四、五上のみ存。見返しに「書行文金堂梓」とあり。  
○九二一一三

10 戒法隨身記

大 3巻3冊 刊 淨慧  
京都永田長兵衛の貞享四年刊本の求版後印本。京都めとぎや宗八刊。  
○九二一一五

6 「燕石雜誌・安斎隨筆・北窓瑣譚後篇抄録」

大 3巻1冊 写 天保2 曲亭馬琴  
裏見返しに「天保二辛卯年九月日」と奥書あり。伊勢貞文 橋春暉  
○九二一一三

11 三國七高僧伝図会

大 1巻1冊存 刊 万延元 杓杞菴一禅居士編  
天竺之巻のみ存。見返しに「皇都 書堂合壽蔵」とあり。卷末に永田調兵衛版の広告あり。  
○九二一六一

7 梧窓漫筆三編

大 2巻2冊 刊 天保11 大田錦城著  
江戸和泉屋金右衛門刊。 唐公愷編  
○九二一五七

12 三國七高僧伝図会

大 1巻1冊存 刊 万延元 杓杞菴一禅居士編  
天竺之巻のみ存。見返しに「皇都 書堂合壽蔵」とあり。 杓杞菴一禅居士編  
○九二一六一

二 神祇

8 大祓執中抄

大 2巻2冊 刊 安政4序 近藤芳樹  
大阪河内屋茂兵衛他十肆刊。  
○九二一一八

13 祐天上人一代記(柱)

半 2巻2冊存 刊  
卷一・三存。卷二内題「祐天僧正一代記」、卷三内題「祐天上人一代記」。  
○九二一一八

9 太宰府天満宮故実

半 2巻1冊 写 文化7 貝原篤信著  
裏見返しに「文化七庚午夏写之 豊田則貞」と識語あり。

14 古筆貞元經断片 大 1帖 写

折帖。緞子表紙。卷末に「泗浜軒心刀珍藏」と記した紙片を貼付する。○九二一八九

15 浄土宗回向文和訓図会

大 1卷1冊存 刊

卷中のみ存。

好花堂野亭著  
○九二一七八

16 正像末和讃絵鈔

半 1卷1冊存 刊

卷上のみ存。

积俊諦  
○九二一八六

17 (和讃)

半 1卷1冊 刊

後補書題簽「無常和讃」。「無常和讃」。「帰命本願和讃」。「二河白道略和讃」。「浄土生蓮和讃」を収める。

○九二一七三

18 華頂山大法会図録

半 1卷1冊 刊 文化8

内題「元祖円光大師六百年御忌図録」。本文につづいて  
広告あり。宝曆十一年刊本の改刻本。京沢田吉左衛門他  
一肆刊。  
○九二一三七

19 観世音靈験図会

大 1卷1冊存 刊

文盲散人編

卷三のみ存。内題「金竜山海潮音記」。○九二一三六

20 翻刻關邪集

大 2卷2冊 刊 文久元跋

杞憂道人編

江戸岡田屋嘉七他六肆刊。

○九二一六〇

四 言語

21 増続大広益会玉篇大全

大 10卷12冊 刊 明治10 毛利貞斎

題簽角書「四声附韻／冠註補闕／類書字義」。七刻。大  
阪松村九兵衛他十二肆。 八二〇一

五 文学

22 絵本故事談(内)

半 1卷1冊存 刊 正徳4序

卷一のみ存。大坂宝文堂刊。 山本序周作  
○九二一七

23 源平盛衰記図会

大 3卷3冊存 刊 寛政12序 秋里籬島

卷一〜三存。

○九二一四七

29 繪本伊賀越孝勇伝 半 6巻6冊存 刊 享和2序

速水春暁斎

24 繪本曾我物語

半 7巻7冊存 刊 天保10

一咲居士作  
法橋中和画

卷一〜五、七存。大坂伊丹屋善兵衛刊。

○九二一五

屋茂兵衛求版後印本。

○九二一一〇四

30 画本西遊全伝

半 8巻8冊存 刊 文化3序

口木山人訳  
吉田武然校  
大原東野画

25 理慶尼の記

一名武田勝頼滅亡記

大 1巻1冊

刊 天保8跋序 理慶尼

三可書屋蔵。

九一三・四三十四

26 繪本応仁記初編(内)半

5巻5冊

刊 文政7序

高井蘭山著  
溪斎英泉画

大阪河内屋長兵衛他六肆。五卷末に河内屋茂兵衛版の広告あり。  
○九二一六

31 鎮西八郎椿説弓張月拾遺(内)  
為朝外伝

半 5巻1冊 刊 文化6序 曲亭馬琴

27 繪本太閤記

半 16巻4冊存

刊 享和元序

法橋玉山画

柱題「真蹟記」。初篇卷一〜十二、二篇卷五〜八のみ存。

大坂三史堂・文金堂刊。

○九二一一〇六

32 勇婦繪本更科草紙  
全伝

半 3巻3冊存 刊 文政4

栗杖亭鬼卵著  
一峰斎馬巴画

28 敵討襷之錦(内)

半 5巻5冊

刊 享和元序 多田一芳

大坂播磨屋伊兵衛他四肆刊。

○九二一一二九

三編卷一、三、五のみ存。大阪河内屋茂兵衛他十肆刊。  
卷五末の刊記「文政四年辛巳正月発行／書林／大阪心斎橋筋博労町南へ入／河内屋茂兵衛」は入木。○九二一八

33 豪傑勲功録(内) 半 5巻5冊存 刊 文政8 曉鐘成画作  
卷六、七、十存。大阪河内屋平七他三肆刊。○九二一五四

開口の末に「文政六／ひつじの／春再板／作者 三馬」とあり。○九二一五二

34 義経勲功図会前編 大 2巻2冊存 刊 近世後期  
前編卷二・四存。○九二一一九一

39 「昔々歌舞妓物語」中 1巻1冊存 刊 柳亭種彦作  
十一丁ウラ、二十丁存。柱刻「かぶき初日」。二十丁ウ  
ラに「板本 西村」とあり。○九二一三二

35 義経勲功図会后編(内)

大 1巻1冊存 刊 文政9跋

40 大日本士鑑(見返し)中 1巻1冊 刊 狭川半水著  
貞信画

大坂近江屋平助他九肆刊。○九二一一九一

多色刷。見返し題の下、篇名を未刻のままあげた所あり。○九二一一二一

36 義仲勲功図会

大 7巻7冊存 刊 天保3序

好花堂主人著  
有阪蹄齋画

41 寛政都関夢嘶 半 1巻1冊存 写

内題「木曾義仲勲功図会」。前編卷一・四、後編卷一、  
五存。大坂伊丹屋善兵衛他十一肆刊。○九二一一九二

下巻のみ存。卷末識語「石田房吉所有」。○九二一五三

37 和漢英雄見競鑑

小 1冊 刊

四冊を合装。卷末に「絵本類」・「当用物」・「錦絵類」  
・「浄るり本」の広告あり。大阪錦屋喜兵衛他一肆刊。

42 松田女敵討 半 1巻1冊 写 文化10写

内題「松田女敵討物語」。卷末に「文化十年酉ノ初冬写  
之／菅景到」とあり。○九二一一六六

○九二一一二〇二

43 八幡利生記 半 1巻1冊 写 明和9以降

間宮市松の敵討を扱った実録物。○九二一一四七

38 花江戸客者評判記(内)  
三芝居

横 3巻1冊 刊 文政6序 式亭三馬

44 菅笠日記(内) 大 2巻2冊 刊 本居宣長

大坂伊丹屋善兵衛他九肆刊。 ○九二―九二

45 東辺紀行 半 1巻1冊 写 昭和13成 藤山一雄

満州康德五年十月十三日(二十七日)の紀行文。挿絵あり。  
写真一葉貼付。自筆稿本。 ○九二―一二九

46 關邪小言 大 4巻4冊 刊 安政4跋 大橋訥庵  
○九二―一六一

47 今世名家文鈔 半 2巻2冊存 刊 嘉永2凡例

篠崎小竹・斎藤拙堂著  
月性編  
卷一、四のみ存。 請求番号なし

48 殉難後草 中 1巻1冊 刊 慶応4

青雲閣兼文編  
京都近江屋卯兵衛他四肆刊。本文末に「殉難後草拾遺」  
の広告あり。 ○九二―七七

49 殉難拾遺 中 2巻1冊 刊 明治2 馬場文英編  
内題「慷慨遺言」。 ○九二―七六

50 振気篇 中 2巻2冊存 刊 明治2 帝杉山人輯  
春莊元史

国風、詩文上のみ存。見返しに「京阪書林／瑞巖堂／竹  
苞楼／文敬堂／合梓」とあり。 ○九二―一八〇

51 文集 半 1巻1冊 写 明治11写

見返しに「明治十一年孟春／文集／螢雪堂」と版本の体  
裁で記す。「賄賂」以下諸家の漢文の雑集。裏見返しに  
は木版で「製本所 大分県大分町 村上勘兵衛出店」と  
あり。 ○九二―一五六

52 開化詩集 小 1巻1冊 写 明治17 石川義暢編  
王治本批評

明治十五年刊本の写し。「明治十七年十一月五日写之  
興」の識語あり。 ○九二―一二二

53 菅家文章(内) 大 12巻6冊 刊 元禄13序 菅原道真

京柳枝軒茨城方道蔵板。 ○九二―一三三

54 菅家後草(内) 大 1巻1冊存 刊 菅原道真

卷十三のみ存。 ○九二―一三三

55 山陽詩鈔 大 8巻4冊 刊 天保4 頼山陽

大坂河内屋徳兵衛他五肆刊。明治四十一年に後藤松陰の

補記を見出してペンで書き付けた識語あり。

○九二一六三

60 和歌ふるの山ふみ(内)

中 4巻1冊 刊 文政10 城戸千楯編

京吉田治兵衛他九肆刊。 ○九二一一五四

56 遠思楼詩鈔

半 2巻2冊 刊 天保8

広瀬淡窓著  
小林安石校

見返し題「遠思楼詩鈔初編」。大坂河内屋茂兵衛他十肆刊。下巻末に河内屋茂兵衛の「百園百家詩初編」等広告あり。

○九二一一〇

61 頭註密勘

大 20巻5冊 刊 明暦3

藤原定家  
頭昭

卷一内題「古今秘註抄」、卷二以下内題「古今和歌集」。京和泉掾林時元刊。 九二一一三五一一一

57 星巖集

大 6巻1冊 刊 天保12 梁川星巖

卷一・三は甲集、卷三・四は乙集。見返しに「江戸千鐘房発行」とあり、乙集末に「天保十年己亥重刊於江戸玉池之宝漢閣」とあり。裏見返し「慶応二丙寅六月 長沼蜻洲」の識語あり。

○九二一七四

62 うひまなひ

百人一首  
新抄書入 半 3巻1冊 写 天保8 賀茂真淵著

奥書「天保八とせといふとしのやよひの十日はかり／うつしはてぬ／河上きよあき」。 ○九二一一三

63 列女百人一首(見返し)

中 1巻1冊 刊 弘化4

緑亭川柳輯  
葛飾老人画  
一陽斎豊国

柱題「列女百首」。江戸山口屋藤兵衛刊。

○九二一一九八

59 方正学文粹

半 6巻4冊 刊 文政12 村瀬誨輔編

方正学(孝孺、字希直、一字希古)の文を諸書から抄出し一書と成した。大坂河内屋茂兵衛他十肆刊。河内屋茂兵衛の広告三丁あり。 請求番号なし

64 国会議員百首

中 1巻1冊 刊 明治24

伊東洋二郎著

巻頭口絵色刷。巻末に広告(朱インクによる活版)あり。 東京静観堂三輪文次郎刊。 ○九二一五六

65 芳宜園集 大 2巻2冊 刊 明治30

毛利元徳詠  
井関美晴  
佐々木古信 編

東京書肆吉川半七刊。 ○九二一一六二

66 海道狂歌合 大 1巻1冊存 刊 文化8

上田秋成詠  
南岳維石画  
文鳳馬声

後補書題簽「南岳文鳳双画」。秋成の狂詠の冊を欠き、画帖の冊のみ存。柱刻「海」。京吉田屋新兵衛他一肆刊。巻末に吉田新兵衛の蔵版書目あり。色刷。

○九二一一三三

67 剪綵百人一首 半 1巻1冊存 刊 燕栗園千穎撰

内題「百人一首」。巻一のみ存。刊記「千蓋庵／千束庵／合梓」。 ○九二一九九

68 狂歌末広集(内) 半 1巻1冊 刊 天保13 蝙蝠軒他選

蝙蝠軒蔵版。 ○九二一四一

69 俚歌俗謡一班(扉) 半 1冊 写 明治27写

麴亭主人編

本文末に「この篇庚寅新誌第卅二号(明治廿四年六月十

六日発兌)より連載第五十八号(同廿五年七月十六日発兌)に至れるもの、佐藤六石先生(麴亭主人)の稿にかゝる。」とあり。「俚歌俗謡一班の横やり 五十四号所載 旭江老漁稿」を付す。 ○九二一一九六

六 音楽・演劇

70 [謡本] 半 10巻10冊存 刊 明治26

「鶴亀」「橋弁慶」「夜討曾我」「羽ころも」「鞍馬天狗」「さくら川」「三井寺」「東北」「孰盛」「養老」のみ存。 京都檜常之助刊。 請求番号なし 観世清廉訂正

71 [謡本] 半 6巻6冊存 刊 明治41

「大江山」「志賀」「邯鄲」「巴」「安達原」「鳥追船」のみ存。 京都檜常之助刊。 請求番号なし 観世清廉訂正

72 観世流改訂謡本 半 30巻30冊存 刊 大正7〜8

丸岡桂訂正  
内一〜三、五〜九、十三〜十八、二十〜二十二、外三〜九、十一〜十三、別三、五、六のみ存。 観世流改訂本刊

行会刊。

七六八四一(三)

七 歴史

73 幸流小鼓手附

横 3卷4冊存 刊 大正7

幸悟朗校閱  
三須平司著

天之卷上、地之卷上・下、人之卷存。東京江島伊兵衛刊。

七六八・一七二二

74 改訂小鼓手附大成

横 2卷2冊存 刊 大正9、10

岩崎菊翁編

四拍子併記  
卷一・二のみ存。大阪吉田謡曲書店刊。

七六八・一七一

75 中将姫雪責の段

大 1卷1冊 写

裏見返しに木版刷で「浄瑠璃写本師／大坂市三休橋通清水町北へ入／野村青雲堂謹写」とあり。表紙に「鶴沢勝久」の名あり。  
○九二一・一一四

76 盛衰記逆櫓の松

大 1冊 写

○九二一・九五

三の切

77 和漢年契

大 1卷1冊 刊 天保2以降

高安昶編

天保二年以降の再刻本。卷末に「大日本小史」他二十三点の広告あり。大阪葛城長兵衛他五肆刊。請求番号なし

78 増補点註国史略

大 5卷5冊 刊 明治17

巖垣松苗編  
巖垣杉苗註  
土居清喜校

四版。東京六合館書店刊。

二一〇一七

79 明治新刻国史略

半 7卷7冊 刊 明治25 石村貞一編

東京東生龜次郎印刷発行。発兌人永井俊次郎。第四版改正発行。  
二一〇一四

80 標註日本外史

半 20卷20冊存 刊 明治10

頼山陽著  
頼又二郎  
標註図記

卷一・六のみ欠。明治十年版權免許。岐阜東崖堂本舗他九肆刊。  
二一〇・〇八八―五一

81 校正日本外史

半 22卷12冊 刊 明治31 頼山陽

明治九年版權免許。七刻。大阪中川清次郎他二肆刊。

二二〇一一

88 国史綱

半 2 篇 2 冊 活 明治 29

藤岡作太郎編

82 校正日本外史

半 22 卷 12 冊 刊 明治 33 頼山陽

明治九年版權免許。八刻。大阪中川清次郎他二肆刊。

〇九二一一三五

89 日本書紀(内)

大 30 卷 15 冊 刊

83 日本外史補

大 14 卷 9 冊 刊 嘉永 3 序 岡田僑

卷一表見返しに「岡田氏蔵板」とあり。二二〇一五

寛文九年版の近世末期後印本。卷三十末に志太満之丞の明治二十九年の識語あり。二二〇一二

84 日本政記

大 16 卷 4 冊 刊 近世末期 頼山陽

大阪象牙屋治郎兵衛他六肆刊。二二〇一六

90 標註古事記読本

半 3 卷 3 冊 活 明治 24 25

加藤高文撰

85 増補日本政記

中 2 卷 1 冊 存 頼山陽

卷七・八存。〇九二一一一五〇

91 後太平記

大 12 卷 6 冊 存 刊 多々良一竜編

卷十三、十四、二十三、二十四、三十一、三十二、三十五、四十のみ存。〇九二一一〇九

86 続日本外史

半 9 卷 5 冊 存 刊 明治 10 序 馬杉繁著 頼復閱

卷一、七、九、十存。明治九年版權免許。東京吉川半七他十五肆刊。〇九二一一三八

92 元就記

大 4 卷 1 冊 写 明和 6

奥書「明和六己丑六月求之利房(花押)」。〇九二一一八三

87 本稿 国史眼

半 7 卷 7 冊 活 明治 23 重野安繹 久米邦武纂 星野恒

帝国大学蔵版。東京大成館刊。二二〇一三

93 豊臣鎮西御軍記(内)

半 5 卷 1 冊 存 写 嘉永 6 写

卷三十一〜三十五存。裏見返しに「嘉永六丑年写之／黒木五郎」と識語あり。 ○九二一一一七

懷徳堂蔵版。大阪浅井吉兵衛・水野善九郎刊。 中井履軒 ○九二一一二〇

94 もりのしげり 半 1冊 写 昭和6

巻頭に毛利忠正公・指月山巴城の写真二葉を貼付。「歴代領地城宅表」「百万一心」の故事、「年齢早見表」「歴代略歴表」を収める。 請求番号なし

99 六雄八将論 半 2巻2冊 刊 青山延光著

上巻目録・内題・柱題「六雄論」。下巻目録・内題・柱題「八将論」。下巻末に「集義社珍藏」。印「集生義印」。 ○九二一一〇〇

95 増補 石城遺聞 半 2巻2冊 活 明治36

福岡山崎藤四郎発行。 山崎藤四郎編輯 ○九二一一一

100 正保野史 半 1巻1冊 刊 文久2序 矢野玄道

裏見返しに「随神館印」と印の模刻あり。○九二一七五

96 大石十八ヶ条申開 大 1冊 写

内題「大石十八ヶ条御吟味之事」。 ○九二一一六

101 忠正公御年譜艸稿 半 1巻1冊 写

表紙、裏表紙に毛利家紋の型押模様あり。小倉八郎旧蔵。 ○九二一一一五

97 初秋のゆめ 半 2巻1冊 写

表紙左下に「有島氏雑書／写之」、見返しに「北藤舎有島氏」、裏表紙に「此書は来る議論之註ヲ／致し度実ニ其之時に当リ／吾国大變之事件也／深可考」と墨書。禁門の變の記録。 ○九二一一七四

102 良将達徳抄(内) 半 10巻10冊 写 近世後期写

文政十年の古賀煜の序あり。 古賀煜著 ○九二一一一二

98 通語 大 10巻3冊 刊 明治9 版權免許

103 続十八史略読本 大 5巻5冊 刊 明治9 宮脇通赫編

明治九年版權免許。新瀉弦卷七十郎刊。東京弦卷支店発

売。 二二二一八

「住吉郡一」「大坂部(破損)」「島下郡/島上部」「武庫郡/菟原郡」「矢田部郡上」のみ存。 ○九二一九七

104 奥野 増補元明史略 大 4巻4冊 刊 明治8 後藤世鈞編 奥野精一標注

京都藤井孫兵衛刊。愛知県尋常中学校旧蔵。二二二一九

110 〔東海道案内〕 小 1帖 刊 折帖。題簽・内題欠。卷末に「江戸より京迄駄賃問屋附」を付す。 ○九二一二五

105 清朝史略 半 10巻11冊存 刊 明治14

佐藤楚材編輯

卷一〜七、九〜十一存。温故堂梓。 二二二一三

111 西遊旅譚(内) 大 3巻2冊存 刊 享和3 司馬江漢

八 地理

卷一・三・五のみ存。江戸鴨伊兵衛刊。ただし大阪河内屋太助の広告あり、河内屋の求版後印本か。 ○九二一九六

106 都名所図会(目) 大 2巻2冊存 刊 秋里籬島

卷二・三存。 ○九二一七二

112 大日本早引細見絵図(内) 豊物 1帖 刊 弘化2

107 京の水 大 2巻2冊 刊 寛政3 秋里湘夕編

京吉野屋為八他二肆刊。 ○九二一四二

天保六年版の再刻。奈良絵図屋庄八刊。○九二一〇八

九 政治・法制

108 大和名所図会(内) 大 4巻5冊存 刊 寛政3 秋里籬島著 竹原信繁画

卷一・二・四・六存。本文末に「大和志」他四点の広告あり。大坂高橋平助他三肆刊。 ○九二一八八

113 〔万治制法〕 極大1巻1冊 写 近世中期

毛利家の「万治制法」。標題「当家制法条々」。 ○九二一二六

109 摂津名所図会 大 5巻5冊存 刊 寛政6序 秋里籬島

114 新律綱領(内) 大 5卷1冊 刊 明治3序

首卷に本編五卷。司法省蔵版。 ○九二一九一

115 職員録 正月廿五日改 横 1卷1冊 刊

官版。江戸和泉屋市兵衛他一肆刊。表見返しに「明治三年正月廿五日改」と墨書。 ○九二一九〇

116 万職図考(柱) 半 1卷1冊存 刊 葛飾戴斗画

後補表紙。第三編存。 ○九二一九九

117 万職図考 半 1卷1冊存 刊 嘉永3序

葛飾戴斗画

第五編存。大坂河内屋茂兵衛他二肆刊。卷末に第六編の予告あり。 ○九二一九九

一〇 經濟

118 算法地方大成 大 5卷5冊 刊 天保8

秋田十七郎義一編

江戸西宮弥兵衛他八肆刊。 ○九二一六二